



安城ロータークラブ

週報

【No.661/ 2014/11 第4例会】

例会日:毎週金曜日

例会場:碧海信用金庫本店3F
安城市御幸本町15-1

TEL:0566-75-8866
FAX:0566-74-5678
Email: anjo-rc19580206@katch.ne.jp
HP: http://www.anjo-rc.org

第2802回例会

2014年11月28日(金) 12:30~13:30

司会者:石川 徳重君

ソング:「我等の生業」

卓上花:ベロニカ

ゲスト及びビジター:

イナヤマ コミ 稲山 琴美様 木曾川うかい 鶴匠

ゴウ マサシ 後藤 真司様 犬山市観光協会 広報宣伝担当



2014-2015年度RIテーマ:

「ロータリーに輝きを」

安城ロータークラブ会長方針:

「楽しいロータリーを創ろう」

- 会長: 永谷 文人
- 幹事: 横山 真喜男
- クラブ会報: 亀島深里・辻隆士・海野広明
- 創立日: S33年1月10日



2015年ロータリー国際大会
サンパウロ(ブラジル)公式マーク

■ 会長挨拶

永谷 文人会長

会員紹介

◆ 都築医院(都築 雅人君)



■ 幹事報告

横山 真喜男幹事

1. 12/5(金) 年次総会です。**欠席されます方は、委任状を提出ください。**
11:45会議室にて理事会、例会終了後、会議室にて次年度理事会、大会議室にてロータリー情報委員会を行います。
2. 12/12(金) ロータリー情報委員会懇親会を19:00~吉野屋にて行います。
3. 12/21(日) 会員家族親睦例会(クリスマス会)案内・協賛品のお願いを配布いたしました。
4. 2/7(土)安城文化センターにて、地区研修委員会主催『新会員セミナー』を開催いたします。
2012-2013.2013-2014.2014-2015年度入会会員は出席ください。尚、当クラブがホストを務めますので、セミナー出席者を含め10名ほどお手伝いをお願いしたいと思いますのでご協力をお願いします。
5. 2/21.22地区大会の案内を全員に配布いたしましたが、**理事・委員長・3年未満の方は参加義務者**です。
また、**3年未満及び任意参加者の方は、登録料¥12,000**をお願いします。

■ 出席報告

山田 庸雄君

会員	61名
出席義務者	46名
出席	37名
欠席	9名
出席免除者の出席	12名
出席率	84.50%
修正出席率	11月14日 第2800回 96.60%



■ ニコボックス報告

杉本 汎平君



■ 雑誌委員会

奥嶋 正衛君



■ 卓話

担当: 山口 研君

【テーマ】女性鵜匠

卓話者 木曾川うかい鵜匠
稲山 琴美様

犬山市観光協会

木曾川うかい鵜匠 稲山 琴美様

広報宣伝担当 後藤 真司様



みなさん、こんにちは。

本日は、安城ロータリークラブ例会にお呼び頂きまことにありがたうございます。

私は平成25年に木曾川うかい鶺鴒匠見習いに任命され、平成26年より木曾川うかいで鶺鴒匠をしております、稲山琴美と申します。

本日は鶺鴒についてのお話をさせて頂きます。よろしくおねがいします。

まず、はじめになぜ私が鶺鴒匠になったのか、お話します。

私は幼い頃から生き物が大好きでした。幼稚園では飼育係で朝からうさぎの世話、帰ってからは虫を捕まえてにいたりして遊んでいました。小学校に上がっても飼育係になり、学校のウサギやアヒル、鯉のエサやりなどをしていました。学校の帰りにおたまじゃくしを捕まえて、水筒に入れて連れて帰り、水筒におたまじゃくしを入れたのを忘れて母親に怒られたのをよく覚えています。

もちろん、家でも、犬、インコ、文鳥、ハムスター、金魚、鈴虫やコオロギなどの昆虫と色々な動物の飼育をしていました。そのまま大きくなり、高校を卒業するころ進路を決めることになりました。遊ぶことに夢中になりすぎて、あまり成績がよくなかったのとまだ就職はしたくないということで、専門学校に行くことを考えたときに、まさきに思ったのが動物関連の仕事がしたいということでした。犬や猫だけではなく、珍しい動物の世話がしたいと思い決めたのが、名古屋コミュニケーションアート専門学校の動物園・動物飼育専攻 アニマルトレーナーコースでした。動物の持つ能力をお客様にお見せしてワクワクしたり、興味を持ってもらいたいと思いました。

専門学校では大型の動物の飼育やトレーニングを行いました。動物も私も楽しむ。これが私のトレーニングの決め事でした。

授業では、移動動物園についていき、そこでベニコンゴウインコや、ミニブタ、ヤギとのパフォーマンスを行っていました。

卒業してからは名古屋市内にある、犬猫以外の動物しかいないエキゾチックアニマル専門店へ就職し3年間勤務しました。そこはエキゾチックアニマル専門なので、動物を慣らしたり、お客様にしっかり飼育の仕方をお伝えしたり、商品の販売を行っていました。大好きな仕事だったのですが野生動物がたくさんいるオーストラリアへの留学がどうしてもしたくて仕事を辞めて短期ですがオーストラリアへ留学をしました。

帰国してから、職探しのためハローワークへと足を運びました。

そこで一回目の職探しでなんと木曾川うかい鶺鴒匠の求人がありました。

私は躊躇することなく応募をして面接の結果、合格を頂き無事に犬山市観光協会職員 木曾川うかい鶺鴒匠になることができました。少し長くなりましたが、私がなぜ鶺鴒匠になったのかというお話です。

鶺鴒匠見習いになってからの一年間は本当に思っていた仕事とは違いました。まず、最初の仕事は取材からでした。完全に犬山市にしてやられたと思いました。

それからは、取材と鶺鴒の毎日がはじまりました。動物が好き！おもしろそう！ただそれだけで始めた仕事だったのであとから、鶺鴒の歴史、犬山の歴史を聞いてこれはえらいところに来てしまったとぞっとしました。

一年目の鶺鴒は、見習いなので先輩鶺鴒匠の後ろで、手縄さばきをみて、鶺鴒の説明を聞いて一生懸命覚ええました。

鶺鴒のシーズンが終わるとまず腰蓑作りです。先輩鶺鴒匠と稲刈りにいきます。

手でお米をとって藁を選別して作ります。腰蓑作りが終わると薪割に入ります。

赤松をきこりのようにみんなで斧を使って割っていきます。薪割がおわるとまわしば作りです。

まわしばとは、篝火うつける際に種火として使ったり鶺鴒を結ぶ際に明りに使うものです。

それが終わると足半つくりに入ります。その間にイベントや実演うかいがあればかけていきます。

衣装や、鶺鴒を入れるカゴなど鶺鴒につかう他の道具もすべて手作りなので

シーズンオフの間に手分けして作業しているあいだにあつという間に次のシーズンがやってきます。

・その他

- (1) 鶺鴒の話
- (2) 鶺鴒匠の装束の話
- (3) 犬山の宣伝

※ 頂戴した原稿はそのまま掲載しています

